京都医学会専門医セミナー

配付資料

「人間ドックでピロリ菌がいると言われました」

↑

どう対応しましょうか？

by　京都消化器医会

沖医院　沖映希

ピロリ菌の検査は7種類　　– それぞれに特色あり –

①血清抗*H. pylori* 抗体	血液検体を用いる
②迅速ウレアーゼ試験	胃カメラを用いる
③検鏡法（Giemsa染色）	
④培養法	
⑤PCR法	
⑥尿素呼気試験	呼気を用いる（絶食で実施）
⑦*H. pylori* 便中抗原検査	便検体を用いる

ピロリ菌の検査は7種類　　– それぞれに特色あり –

①血清抗*H. pylori* 抗体 ➡ 血液検体を用いる　IgG 抗体を測定

②迅速ウレアーゼ試験

③検鏡法（Giemsa染色）

④培養法

⑤PCR法

⑥尿素呼気試験

⑦*H. pylori* 便中抗原検査

人間ドックでよく実施されている

現在胃の中にピロリ菌が住んでいる状態

陽性であっても現感染とは言えない　重要

ピロリ菌除菌成功後に抗体価が基準値を上回った状態で長期間経過することは珍しくありません

陽性であれば他の検査法で確認要　重要

人間ドックは自由診療

不要

レセプトへの病名の記載

（慢性・ヘリコバクターピロリ感染・萎縮性）胃炎　胃・十二指腸潰瘍
早期胃がん内視鏡治療後　胃MALTリンパ腫　特発性血小板減少性紫斑病（ITP）

不要

ピロリ菌感染診断前の胃カメラ

保険診療で①～⑦の検査を行う場合

- 保険病名の記載が必要

（慢性・ヘリコバクターピロリ感染・萎縮性）胃炎
胃・十二指腸潰瘍（瘢痕）
早期胃がん内視鏡治療後
胃MALTリンパ腫
特発性血小板減少性紫斑病（ITP）

いずれか

①血清抗*H. pylori* 抗体
②迅速ウレアーゼ試験
③検鏡法（Giemsa染色）
④培養法
⑤PCR法
⑥尿素呼気試験
⑦*H. pylori*便中抗原検査

- あらかじめ胃カメラを実施しておく必要あり

ITP以外

検査実施日を確認した上でレセプト提出を

- 摘要欄に注記しておく方が安全

（例）＊年＊月＊日に上部消化管内視鏡検査。胃潰瘍を認めた。

CQ1-2 血清抗 *H. pylori* 抗体検査の陽性結果から *H. pylori* 除菌治療を開始できるか？

● ステートメント

血清抗体陽性は *H. pylori* 現感染のみを反映するものではないため、その結果のみで除菌治療を行わないことを推奨する。

推奨の強さ；強い（合意率：強い推奨 91.3%）

エビデンスの確実性；B



血清抗体陽性者には未感染者、感染既往者のような、
「現在胃の中にピロリ菌の住んでいない状態」の方が相当数含まれている

特に除菌治療後の方に抗体検査結果のみで除菌の成否を判断すると、
除菌が成功しているのに再除菌という無限ループになってしまうことがある

血清抗体陽性、即除菌治療　　ダメ。ぜったい。

Q

人間ドックでピロリ菌がいると言われた

ピロリ菌の血清抗体法で陽性だった

どうしたらいいでしょうか？

回答例

ピロリ菌が現在住んでいる状態（現感染）とは限りません。
除菌治療が必要かどうか、他の検査法で確認しましょう。

配付資料は以上です